

## 2020年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5、理事長：森山博志）は、2020年度決算（2020年4月1日～2021年3月31日）の概要を下記のとおり公表いたします。

## 記

## 1. 預金積金・貸出金の状況

預金積金は、新型コロナウイルス対策として支給された各種給付金や、積極的な資金繰りのご支援、安定した年金・給与振込などにより、前期比215億円増加し、5,225億円となりました。

貸出金は、事業者のお客さまには制度融資や新型コロナウイルス対策特別融資等による資金繰りのご支援、課題解決に着目したご融資のご提案を行い、個人のお客さまには住宅ローンや各種個人向けローンについて特別金利でのご提供を行ったことなどにより、前期比52億円増加の1,469億円となりました。

	2020年3月末	2021年3月末	増減
預金積金	500,943 百万円	522,517 百万円	+21,574 百万円
貸出金	141,653 百万円	146,937 百万円	+5,283 百万円

## 2. 損益の状況

貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、投資信託解約益の計上などにより資金運用収益が増加したほか、減損損失などの特別損失の減少から、当期純利益は前期比86百万円増加し、680百万円となりました。

	2020年3月末	2021年3月末	増減
経常利益	853 百万円	821 百万円	△32 百万円
当期純利益	593 百万円	680 百万円	+86 百万円

## 3. 自己資本

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。2020年度は、貸出金および有価証券の残高増加からリスクアセット等が増加し、自己資本比率は前期比0.15ポイント低下の10.75%となりました。

	2020年3月末	2021年3月末	増減
自己資本額	19,778 百万円	20,269 百万円	+490 百万円
自己資本比率	10.90%	10.75%	△0.15%

## 4. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比196百万円増加の7,005百万円となりましたが、正常債権が増加したことから、不良債権比率は、前期比0.04ポイント低下の4.75%となりました。

	2020年3月末	2021年3月末	増減
不良債権残高	6,808 百万円	7,005 百万円	+196 百万円
不良債権比率	4.79%	4.75%	△0.04%

以上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：芦崎）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

TEL：0479-25-2115 FAX：0479-22-9909 e-mail：keiki@choshi-shinkin.co.jp